

- 問1 弥生時代の遺跡から出土する銅剣や銅鐸（どうたく）などの青銅器について、日本における当時の主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）
1. 集落の祭祀（さいし）や儀式において用いられる祭りの道具として使われた
 2. 戦場において敵を攻撃したり身を守ったりする実戦用の武器として使われた
 3. 木を切り倒したり土を掘り起こしたりするための農具として使われた
 4. 大陸との交易において支払いに用いられる、価値の基準となる貨幣として使われた
- 問2 弥生時代の遺跡の復元資料において、茅（かや）などの植物で葺かれた屋根が地面に接するほど低く設置され、地面を掘り下げて基礎としている住居が見られます。この住居と、同じ時代に稲などを保管するために作られた「高床倉庫」の構造上の最大の違いは何ですか。（2018年 奈良県公立入試 類似）
1. 住居は木材を一切使わずに石だけで作られているが、倉庫は木材を中心に作られている
 2. 住居は瓦で屋根を葺いているが、倉庫は茅や草を用いて屋根を葺いている
 3. 住居は円形のものしかないが、倉庫はすべて三角形の形をしている
 4. 住居は地面を掘り下げて床を作っているが、倉庫は柱によって床を高い位置に設けている
- 問3 弥生時代の稲作の普及に伴って変化した人々の生活や道具について述べたものとして、正しいものはどれか。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
1. 金属器はまだ伝わっていなかったため、すべて木製の農具と黒曜石の打製石器のみで耕作が行われた。
 2. 稲作を管理するために、強力な権力を持つ支配者が各地に巨大な前方後円墳を築かせた。
 3. 人々は獲物を求めて移動生活を続け、土器は表面に縄目の文様がある厚手で大きな作りのものが主流となった。
 4. 収穫した稲を湿気やネズミから守るために高床倉庫が造られ、穂首を刈り取るための石包丁などが使われた。
- 問4 弥生時代の遺跡からは、大陸から伝わった銅剣や銅矛などの青銅器が発見されることがあります。これらの青銅器の使われ方の特徴や変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 岡山県公立入試 類似）
1. 当初は武器として伝わったが、日本では次第に豊作を祈る祭祀や儀式のための宝物として使われるようになった。
 2. 各地の王が富を蓄えるための貨幣として使われ、和同開珎が作られるまで主要な流通手段となった。
 3. 青銅器は非常に硬くて丈夫であったため、収穫した稲を加工するための農業用工具として普及した。
 4. 弥生時代には鉄器はまだ伝わっていなかったため、青銅器が唯一の金属製武器として実戦で使われ続けた。
- 問5 弥生時代に大陸から稲作が伝来して定住生活が広まると、集落（ムラ）の間で大規模な争いが発生するようになりました。縄文時代の狩猟・採集中心の生活ではあまり見られなかったこのような対立が、弥生時代に激化した主な理由として適切なものはどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 大陸から伝来した仏教の布教をめぐり、信仰の違いから衝突が起きたため
 2. 気候の寒冷化によって木の実などの食料が激減し、採集場所を奪い合ったため
 3. 獲物を追って移動する範囲を広げ、獲物の所有権をめぐって対立したため
 4. 水田を耕作するための土地や、農業に欠かせない水の利権を確保しようとしたため
- 問6 紀元1世紀ごろ、日本の小国の王が、中国の皇帝に対して貢ぎ物を送る「朝貢（ちょうこう）」を行い、金印を授けられた主な理由や背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. 中国の進んだ仏教文化を日本に導入するために、僧侶を派遣する正式な許可を得るため。
 2. 中国の皇帝から王としての地位を認めてもらうことで、国内における支配の正当性を高めるため。
 3. 日本国内の統一を成し遂げたことを報告し、中国への輸出関税を免除してもらうため。
 4. 大陸で勢力を強めていた高句麗に対抗するため、中国と軍事同盟を結ぶ必要があったため。
- 問7 1世紀半ば、弥生時代の日本（倭）にあった奴国の王が、中国の後漢の皇帝から金印を授けられた頃の世界の動向として正しいものはどれですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）
1. ヨーロッパでルターが宗教改革を始め、カトリック教会に対してプロテスタントが成立した
 2. 南アジアのインダス川流域でインダス文明が栄え、大きな都市が建設された。
 3. ローマ帝国が地中海周辺を統一し、パレスチナでイエスがキリスト教を創始した。
 4. アラビア半島でムハンマドがイスラム教を創始し、急速に勢力を拡大した。
- 問8 奈良県にある唐古・鍵遺跡のような、周囲を深い濠（ほり）で囲んだ「環濠集落」からは、高床の建物が描かれた土器などが出土しています。このように、集落の周りに濠を巡らせた主な目的と、この時代の近畿地方において主に祭祀（お祭り）の道具として使われていた青銅器の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
1. 目的：水害から住居を守るため / 青銅器：銅鐸
 2. 目的：外部からの敵の侵入を防ぐため / 青銅器：土偶
 3. 目的：水害から住居を守るため / 青銅器：はにわ
 4. 目的：外部からの敵の侵入を防ぐため / 青銅器：銅鐸
- 問9 弥生時代、土を耕すための農具や敵と戦うための武器には、青銅ではなく主に「鉄」が材料として選ばれました。このように鉄器が実用品として普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 大阪府公立入試 類似）
1. 鉄は日本列島で独自に発見された金属であり、大陸から輸入する必要があった青銅よりも安価だったから。
 2. 鉄は青銅よりも融点が低く、当時の未熟な技術でも簡単に大量生産することができたから。
 3. 鉄は青銅に比べて硬度が高く耐久性に優れていたため、衝撃の加わる作業や戦闘に適していたから。
 4. 青銅は非常に重く持ち運びが困難だったため、軽量の鉄が実用的な道具として好まれたから。
- 問10 1世紀頃、日本（倭）の小国の王が中国の漢（後漢）の皇帝に使いを送り、皇帝から臣下として認められた証として授けられたとされる金印には、どのような文字が刻まれていますか。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 漢委奴国王
 2. 親魏倭王
 3. 卑弥呼
 4. 志賀島
- 問11 邪馬台国の女王が中国の魏の皇帝に使者を送った際、皇帝から授けられたとされる称号と、その証として贈られた品物の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2025年 長野県公立入試 類似）
1. 「倭王」の称号と、百済から贈られた七支刀
 2. 「日本国王」の称号と、明との貿易に用いられた勘合符
 3. 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡
 4. 「漢委奴国王」の称号と、志賀島で発見された金印
- 問12 兵庫県神戸市の桜ヶ丘町などで出土した、釣り鐘のような独特の形をした弥生時代の青銅器について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この青銅器の表面には、当時の生活の様子や幾何学的な文様が描かれていることがあります。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 狩猟や農耕の様子が描かれた、祭祀に用いられた銅鐸である
 2. 古墳の副葬品として納められた、馬に装着する鉄製の装具である
 3. 魏の皇帝から邪馬台国の女王に贈られたとされる銅鏡である
 4. 縄文時代の集落で見つかる、魔除けのために作られた土偶である